

朋流

AUG.31.2011 Vol.83

CONTENTS

朋流一味	23
こんなことが学べます	45
奨学金・入試日程 2011 データ	6
大学生の就業力育成支援	7
文化講演会の案内	8
東日本大震災チャリティー	9
公開講座情報	10
生涯学習センター 共催講座	11
2010年度 事業報告・2011年度 事業計画	12
2010年度 決算書・2011年度 予算書	13
同窓会役員	14
訃報及び退職・住所変更用紙	15
同朋学園 三大学統合の中止について・鴨付通信	16

(PHOTO: 浅野玄誠・インド ルンビニ・マヤ堂)

<災害お見舞い>

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によって、東北・関東地方をはじめ、広範な地域に甚大な被害がもたらされ、また、原子力発電所の深刻な事態が続き、今なお予断を許さない状況にあります。

このたびの震災により尊い生命を奪われた多くの方々に衷心より哀悼の意を表しますとともに、今なお深い悲しみの中で、苦難の生活を強いられておられる全ての皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

朋流一味

いま問われている一言「汝、同朋たれ！」

同朋大学学長 尾畑文正



昨年8月に同朋大学長に就任しました。6月現在で10ヶ月となります。これまで同窓会の事務局長として「朋流」には登場いたしましたが、このたび、学長として同窓生の皆様にご挨拶させていただきます。今回、来年度3月末までの学長ではありませんけれども、同朋大学の運営に責任を担うものとして、大学にかけを願ひ、或いはミッションへの指針を表明して、学長就任のご挨拶に替えさせていただきます。

同朋学園設立の根本精神は「同朋和敬」です。親鸞聖人と聖徳太子の思想と信仰からきています。それはお二人の実践的な人生観、世界観から生みだされたものです。親鸞

人間観を提起することができるとでしょうか。いまそのことが問われています。

私は、建学の精神としての同朋精神は、一つの学園の、一つの大学の根本精神、いわゆる大学のミッションであるばかりではないと思います。営利のためには老病死する人間を抱きしめることもなく見捨ててきた、否、いまもお見捨てている経済至上主義的な現実を生きる私たち自身を問うところの普遍的原理であります。

その意味では、同朋大学がその仏教的精神の発露として課題にしてきた様々な学問、福祉学も、子ども学も、人文学も、仏教学も、それらは、全て人間を尊敬すること

聖人は「いし・かわら・つぶてのごとくなるわれらなり」と社会の底辺の人々を友、同朋とした人です。現代的に言えば、水平の関係を生きた人です。他方、聖徳太子は国政の中で、「血塗られた手」(上原和説)をもって矛盾と不正と歪みの現実、に、仏教に根ざした「和」を課題にして生きた人です。これも現代的に言えば、縦社会のなかにあつて、差異を超えて人は尊敬すべきことを明らかにした人です。

このお二人の生き様をもって、根本精神とするところに、同朋学園、就中、同朋大学の存在の意義があります。それでは、この格差社会が常態化されている経済至上主義的な社会において、このような

を持つて展開されてきた学園であります。その行き着く方向は、同朋精神のイメージとしていえば、「いかなる人も友・同朋として尊敬し、違いを超えて、人と人との交わりを大切にしていく」生き方を内実とするものです。それは徹底的に「人」を尊敬していく人間観であり、社会観です。

この精神を根本とするところから生み出されたのが同朋大学です。もしそれが蔑ろにされ、覆われるようなことがあれば、大学存立の意味はないでしょう。しかし、それは決して他人事ではありません。むしろ私達自身に問うべきでありましょう。同朋精神に出会い、その精神を糧として生きているのかと。

建学の精神を掲げることの意義とは何でしょうか。

このことは現在の問題に直結する課題です。私達が直面する問題とはいうまでもなく、3月11日に東北・北関東を襲った地震、そして津波による大震災、更には究極の人災(人智で制御できない物体を傲慢にも建設したという意味において)としての福島第一原子力発電所事故によって生来している、私達一人一人の生き様の問題です。

いわゆる「同朋和敬」の精神、略していえば、同朋精神は、それらの現実に対して、いかなる世界観と

真宗専門学校以来、幾多の同朋大学の歴史を通して私達に問われてきているただ一言、「汝、同朋たれ！」との呼びかけに、共に虚心坦懐に聞き続けてまいりましょう。

先ずは、我が身一人のところからその呼びかけをいただき、学び、明らかにして、いま何がなされなければならないのか。どう動かなければならないのか。我が身の上で聞き続けていかなければならないと思います。微力ながら、その責務を「汝、同朋たれ！」の声を受けて、学長として果たして参りたいと思います。



文学部

仏教学科



人間が生きている意味はどのように問われるべきなのでしょう。技術や社会の構造は進化し巨大なものになりましたが、人間が生まれて死んでいくという単純な生死の問題の本質はなんら変わっていません。本学科では、時代と社会の問題、生と死の問題、絡み合うさまざまな問題の中で、わたしたちが何を学び、どんな真理によってたつべきなのかを、仏教、特に親鸞の思想に尋ねていきます。

真宗学コース	親鸞があきらかにした仏教を通して、人間とは何か、自分自身が生きるとは何かを学んでいきます。親鸞の教えを、平和・人権・福祉・生命倫理といった現代社会の問題に向き合って学んでいけるような学生を求めます。特に仏教思想に基づいた人間観・世界観にたつて、真宗の教えを学び人生の意味をあきらかにすることに興味ある人を求めます。
仏教文化コース	インド・中国・チベット・モンゴル・朝鮮半島・南アジア・日本など、それぞれの地域で開花した仏教の思想と諸文化を幅広い視野と問題意識をもって学びます。更にはそれらを基礎としてアカデミックな視点にたつて、歴史や文化を探究できる人を求めます。

同朋大学では こんなことが学べます

コース紹介

人文学科

本学科では、「文学」「歴史」「文化」「映像」をテーマにして、本来のリベラルアーツの目的を完遂することをめざします。人間存在の基礎をなすのは、知的な関心です。知的な刺激が存在を確認する第一の条件なのです。

では具体的に学ぶというのはどんなことでしょうか。考察する課題を持ち、必要な情報を収集し、それを分析して考究した後、第三者に伝わるよう表現することではないでしょうか。このプロセスは、どのような分野に進んだとしても必ず必要となる条件であり有用性を持ちます。



日本文学コース	古代から中世、近世、近現代までの国文学と国語学を学びます。文献研究と同時に、芸能に触れ、美術館で本物を見ることも大切にします。
外国文学コース	中国文学、イギリス文学、フランス文学など幅広い国や地域の文学と文化を横断的に学びます。特に自分でものを考える力の育成を大切に、文章表現力をみがきます。
歴史文化コース	日本史、中国文化史、インド文化史、比較文化史などが学べます。歴史には、時代考証学的視点や文化考証学的視点などがあります。
映像文化コース	映像表現の技術的な側面を学ぶとともに、その前提となる映像制作者の歴史観や哲学観を探究し、映像表現の現場で知的に活躍できる人材の育成をめざします。

社会福祉学部
社会福祉学科

社会福祉専攻



「社会福祉専攻」は、人々の生きがいのある暮らしづくりを応援する福祉専門家の育成を主な目的としています。

例えば、祖母の介護の手伝いがしたいなど個人的・身近な動機があったとします。そこから高齢者を取り巻く状況や制度、政策、問題点などについて、一歩も二歩も踏み込んだ課題意識を持っているかが必要になります。自主的に書籍や資料で調べたり、ボランティア活動などの体験を踏まえて自分の意見を育むことが大切です。

社会福祉コース	社会福祉を総合的に学び、社会福祉士資格の取得をめざします。人と人との関係が薄れつつある地域において、共同して暮らしを支える町づくりができる指導的人材となることを期待します。
ヒューマンケアコース	高い専門知識を持った介護福祉士の資格取得をめざし、地域におけるケアのリーダーとしての指導的役割を果たす人材を育てます。
メンタルヘルスコース	精神保健福祉の現場で即戦力となる精神保健福祉士を育成します。精神医学や心理学、リハビリテーション、ソーシャルワークなど、この分野に必要な専門的な知識と技術を身につけます。
福祉教育コース	福祉制度や技術がいくら発達しても、「人間が生きていく意味」が見失われているのが現代です。人間を起点として、学校や福祉施設で指導的立場で働く知的な人材を育成します。また、NGOや災害地等で活躍するNPOなどで実習を行なって、国際的な視野をもつ人材も育てています。
心理学コース <small>new</small>	心理学コースでは、心理学の基礎と応用、カウンセリング技術を身につけ、認定心理士の資格取得を目指します。その上で子ども、障がい児、障がい者、精神障がい者やその家族をはじめとする社会福祉の対象者に対し、生活をしていく上での悩みや諸問題の解決を図るために、福祉的アプローチを学びます。
国際・社会貢献実践コース <small>new</small>	現代社会では、貧困問題や環境問題などグローバルな視野に立って考えなければならない問題が多々あります。このコースでは、国際協力や支援に必要な知識と実践力を身につけるとともに、多様な文化的背景を持って日本社会で暮らす外国人への支援のあり方を学び、様々な地域、機関で活躍できるソーシャルワーカーを目指します。

「子ども学専攻」は、複雑な現代社会において、主に子どもの味方となって子どもの育ちを応援する専門職を養成することを目的としています。ですから、何よりも子どもが好きで、子どもを理解しようとする意欲ある学生を求めています。



子ども福祉コース	児童虐待、いじめによる子どもの権利侵害などは大きな社会問題になっています。保育所や児童養護施設での子どもに対する直接のアプローチだけでなく、家族援助も視野にいれて、子どもの抱えるさまざまな社会的問題とその解決のために必要なものを総合的に学びます。
幼児教育コース	幼稚園教諭一種免許・保育士資格の取得をめざします。本コースでは、幼児教育の専門家として広い視野を持った人材の育成をめざします。
子ども発達心理コース	子どもの発達についての不安や子育ての悩みは増えています。こうした子ども自身の問題に加え、保護者の精神的負担を含めて、心理的なサポートのできる専門家の育成をめざします。

子ども学専攻

大学生の就業力育成支援事業

同朋大学社会福祉学会・同朋大学卒社会福祉関係従事者のつどい特別フォーラム [II]

テーマ 『福祉を学ぶ意義を探る』 ～生きることに支援～

今、我が国は早いスピードで変化しております。“少子高齢化”の大波が押し寄せております。高齢者数は2035年ごろにピークを迎えます。社会のシステムを変化に合わせて換えていくことが必要です。福祉現場では、子ども・障害者・高齢者等を取り巻く制度・施策が具体的に整備され、大きく変わろうとしています。

3/11におきた東日本大震災、津波・人災の原発で多くの方が被災し、多数の方が亡くなりました。日本中の人や、世界の人々が厚い思いを寄せ、我が事として連帯感を共有し、募金や現地へ支援に駆けつけました。福祉の仕事は「命」を守り育て、生きることに支援をすることです。子ども、障害者、高齢者、地域生活の様々な支援や新たな地域づくりへの取り組みも求められております。地域で自助・互助・共助・公助が重層的に助け合う仕組みを創ることが必要なことでもあります。特別フォーラムIIとして命を賛歌する同朋福祉の原点にスポットを当てます。

人間生活の原点に立ち、社会福祉法のキーワードである「個の尊厳」「自立」「選ぶ」が確立・保障される福祉社会の実現を展望してみたい。こうしたことを通じ、テーマである『就業力育成』を具体的に考え・高め・交流する機会としたい。多数のご参加をお待ちしております。

□日時

2011年11月26日(土)
14:00~17:00(開場13:00)

□会場

同朋大学キャンパス 博聞館
4階 めいおんホール
名古屋市中央区稲葉地町7-1
(TEL) 052-411-1111

□主催

同朋大学社会福祉学会・
同朋大学卒社会福祉関係従事者のつどい

□問い合わせ先

同朋大学社会福祉学部研究室
(TEL) 052-411-1467
(FAX) 052-411-1154

□主な日程

13:00~13:30	受付
13:30~14:30	研究発表 ①「同朋大学キッズカレッジ」のあり方を探る(木村ゼミ他) ②「託児付講座に関するニーズ」調査報告(3年、4年渡邊ゼミ) ③「ペットボトルキャップ」の旅 ~世界の子どものためのワクチンに行き着くまで~(4年、3年一部 中神ゼミ) ④東日本大震災 被災地に対するボランティア活動 ~その報告と今後の課題(同朋大学ボランティアネットワーク)
< 休憩 >	
14:40~14:50	★学生幹事企画『子ども学にふれよう』
14:50~16:00	★基調報告I テーマ『一人ひとりの命と暮らしを守る地域づくりのために できることからはじめよう!』 講師:浦野 愛氏 (NPO法人レスキュー・ストックヤード常務理事H11同朋大学社会福祉学部卒)
< 休憩 >	
16:10~17:00	★シャンソン&トーク テーマ『いのちの讃歌』 講師:中野 見夫氏 (S39同朋大学文学部卒・シャンソン歌手)
17:30~19:00	★第二部交流パーティー *会場:同朋学園「勝友館」1階 学生ホール・立食形式 *対象:社会福祉学部教職員・卒業生・学生・一般等 *会費:第二部参加者のみ負担を願います。 (参加確認を事前に行います) ・卒業生及び教職員:1人 2,000円 ・学生:1人 500円 *参加確認を事前に行わせていただきます。 [申込期限:11月11日(金)]



同窓生の皆様へ



このたび、同朋大学の「奨学金」の一つに、「卒業生・修了生の子の入学金に関する内規」という制度が新たに出来ました。

この制度は、本学の卒業生・修了生のお子様、同朋大学に入学された場合に、入学後の願出に基づき、その**入学金に相当する額を奨学金**として支給されるものです。

卒業生及び修了生の皆様の経済的負担を少しでも軽減し、皆様が学ばれた時と変わらない建学の精神「同朋和敬」のもと、当時の先生また新たに加わった先生方の講義が、新しくなった講義室・実習室・図書館・学食で行われており、是非お子様方に入学していただきたいとの願いによるものです。

母校の新しい奨学金制度を報告させていただきました。多くの方が、この制度を活用されることを願っています。同朋大学で皆様たちに再見しましょう。

2012年度 出願期間・試験日・合格発表(大学)

試験会場	出願期間	試験日	合格発表	備考
指定校推薦入試	11/1(火)~11/16(水) 必着	11/20(日)	11/25(金)	※帰国生徒I期
公募推薦入試	11/14(月)~11/30(水) 必着	12/4(日)	12/9(金)	※シニアI期
自己推薦入試	11/14(月)~11/30(水) 必着	12/4(日)	12/9(金)	※シニアI期
試験会場	出願期間	試験日	合格発表	備考
I期(A方式)	1/5(木)~1/23(月) 必着	2/1(水)	2/9(木)	※シニアII期 ※帰国生徒II期
I期(B方式)	1/5(木)~1/23(月) 必着	2/2(木)	2/9(木)	
I期(C方式)	1/23(月)~2/9(木) 必着	2/16(木)	2/23(木)	
II期入試	2/13(月)~2/28(火) 必着	3/4(金)	3/9(金)	※シニアIII期
III期入試	2/27(月)~3/9(金) 必着	3/14(水)	3/16(金)	
試験会場	出願期間	試験日	合格発表	備考
センター試験利用入試(前期)	1/10(火)~2/3(金) 必着	1/14(土)~15(日)	2/15(水)	
センター試験利用入試(後期)	2/27(月)~3/9(金) 必着	3/14(水)	3/16(金)	
試験会場	出願期間	試験日	合格発表	備考
編入I期	6/14(火)~6/24(金) 必着	7/2(土)	7/8(金)	
編入II期	11/1(火)~11/16(水) 必着	11/20(日)	11/25(金)	
編入III期	1/5(木)~1/23(月) 必着	2/1(水)	2/9(木)	
試験会場	出願期間	試験日	合格発表	備考
社会人I期	11/1(火)~11/16(水) 必着	11/20(日)	11/25(金)	
社会人II期	1/5(木)~1/23(月) 必着	2/1(水)	2/9(木)	
試験会場	出願期間	試験日	合格発表	備考
外国人I期(国外)	9/5(月)~9/30(金)	11/20(日)	11/25(金)	
外国人I期(国内)	10/17(月)~11/4(金)	11/20(日)	11/25(金)	
外国人II期	12/19(月)~1/13(金)	2/1(水)	2/9(木)	
外国人III期	2/1(水)~2/17(金)	3/4(日)	3/9(金)	
試験会場	出願期間	試験日	合格発表	備考
AO入試	8/1(月)~3/12(月)	随時	随時	
	エンタリー期間	第1回面接	第2回面接	備考
①	8/19(金)まで	9月上旬	10月上旬	10月下旬
②	9/15(木)まで	10月上旬	10月下旬	11月下旬
③	10/6(木)まで	10月下旬	11月中旬	12月中旬
④	12/1(木)まで	12月中旬	1月中旬	2月上旬
⑤	2/9(木)まで	2月下旬	3月上旬	3月中旬
⑥	3/12(月)まで	3月中旬	3月中旬	3月下旬
試験会場	出願期間	試験日	合格発表	備考
別科I期	11/14(月)~11/30(水) 必着	12/4(日)	12/9(金)	
別科II期	2/27(月)~3/9(金) 必着	3/14(水)	3/16(金)	

2012年度 出願期間・試験日・合格発表(大学院)

試験会場	出願期間	試験日	合格発表	備考
I期	9月1日(木)~9月9日(金) 必着	9/17(土)	9/26(月)	
II期	1月5日(木)~1月23日(月) 必着	2/2(木)	2/9(木)	
III期	2月24日(金)~3月9日(金) 必着	3/14(水)	3/16(金)	
試験会場	出願期間	試験日	合格発表	備考
I期	1月5日(木)~1月23日(月) 必着	2/2(木)	2/9(木)	
II期	2月24日(金)~3月9日(金) 必着	3/14(水)	3/16(金)	
試験会場	出願期間	試験日	合格発表	備考
I期	9月1日(木)~9月9日(金) 必着	9/17(土)	9/26(月)	
II期	1月5日(木)~1月23日(月) 必着	2/2(木)	2/9(木)	
III期	2月13日(月)~2月27日(月) 必着	3/14(水)	3/16(金)	

※入試試験に関する問い合わせ: 入試広報課 Tel 052-411-1247

東日本大震災募金活動とボランティア活動について

このたびの大震災で被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

今回の震災の翌日3/12、学生の有志から「被災地の皆さんのために募金活動をしたい」との申し出がありました。大学でも震災対策の緊急運営会議がひらかれ、その場で学生達の募金活動についても許可をいただきました。学生達の活動は、①募金 ②被災地のみなさんを励ます「エール旗」を作るというものです。3/14に早速、旗作りと募金箱作りをはじめました。メールやツイッターで賛同者をつのり、在学生・卒業生や、ご近所の方が大学まで足を運び、旗に寄せ書きをしてくれました。募金活動の場所を決めるため、名古屋市長務局に相談したところ、学生達の思いに共感してくださり、交通局・稲西営業所の副所長をご紹介いただき、中村公園・市バスターミナル内で募金活動することが決まりました。3/15の夕方17:00から、学生達は募金箱をもって駅に立ち活動をする事にしました。



3/16の朝、中村公園・市バスターミナルに学生の様子を見に行きました。みんな、首から募金協力のプレートを下げて、大きな声で募金活動と呼びかけていました。無視して通り過ぎる人、がんばって声をかけて募金してくれる人、中には「家族のみんなの分です」と言って1万円札を入れてくれる人もいました。杖を突いたおじいちゃんがポケットからジャラジャラと小銭を出して入れてくれたり、通勤ラッシュの中、本当に沢山の方が募金をしてくださいました。

3/17の朝は、さらに募金活動に加わる学生が増えていました。その中に福島出身で実家が被害にあった学生の姿がありました。仲間と一緒に必死に



募金を呼びかけ、その彼を気遣い励まし合う姿に「同朋精神」をかいま見た気がします。また一般の方々から、学生達の活動に共感と感動したとお手紙もいただきました。募金は3/15から3/24までで410,409円を集め、その後はオープンキャンパスや大学の催事での募金と「エール旗」書き込みの呼びかけを継続して行い、そのなかから声が上がリ「同朋ボランティアネットワーク」が構成されました。

東日本大震災 現地ボランティアに参加した学生 その後

NPO法人レスキューストックヤードの呼びかけで、宮城県七ヶ浜ボランティア活動に参加した学生達は、「一回目に現地を見たときは、言葉も出ない、呆然としてしまった。ボランティア1日目は被災者の方々にニーズ調査をし、2日目以降は浜の清掃や床下の泥だしをした。2回目に現地に行ったときは、キレイになっていて、みんなが協力した結果だと思った。」と現地活動を振り返り話してくれました。

そして、去る6月8日「愛知の学生大ミーティング～震災をきっかけにつなごう!～」がポートメッセ名古屋にて開催されました。大震災が起きて3ヶ月。多くの団体や個人の方が手を取り合い復興に向けて努力している中、愛知県の学生同士が集まり、震災をきっかけにした励まし合い・刺激をし合い、次の活動へつなげていくことを期待し開かれたこの会には、本学学生が構成する「同朋ボランティアネットワーク」のメンバーが実行委員として参加し発表をしました。現在も募金活動は継続しています。



実行委員 社会福祉学部 鈴木清風さん

同朋大学 同窓会 第28回文化講演会 東日本大震災復興支援チャリティーコンサート

無料

定員
300名



撮影:広河隆一

ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジー 水晶の歌声と バンドウーラの華麗な響き

日時 ×2011年11月5日(土) 16:30～(開場16:00)

会場 ×同朋大学 12Fホール

<文化講演会申し込み方法>

ナターシャ・グジー コンサートのみ
事前申し込みが必要です。

※往復ハガキでお申し込みください。

締め切り

10/23
必着

返信	①氏名・年令 ふりがなを振ってください	返信	〒453-8540 同朋大学 同窓会事務局行	何も記入しないで ください。
あなたの住所 あなたの氏名	②郵便番号 住所 電話番号 ③参加人数			

同朋フォーラム

同日
開催

震災後の 名古屋経済と福祉

講師：中部経済新聞社取締役営業局長
高田豊明(たかだ とみあき)

日時：11月5日(土) 13:30～

場所：同朋大学成徳館

中村生涯学習センター「共催講座」 定員 70名 受講料 無料

唱歌で味わう古典文学の世界

【講座ガイド】

長年歌い親しまれてきた唱歌。それは、過ぎ去りし懐かしの日々の想い出と重なって、私たちが幼少のひとときに誘ってくれます。しかし、何気なしに歌っていた唱歌の中には、古典文学を踏まえた歌詞が詠まれ、古典の世界を彷彿とさせてくれるものも数多くあります。そこで、いくつかの唱歌(三十数曲)をみることによって、深く唱歌の小世界に身をゆだね、古典文学の世界を味わうとともに、その情趣に遊んでみましょう。

講師	文学部人文学科特任教授 元同朋大学学長(名誉教授) 沼波 政保
会場	同朋学園Doプラザ閣蔵 ホールDo
時間・曜日	木曜日 13:00~14:30
受付開始	8月末~
申込締切	9月27日(火) 必着
問い合わせ先	中村生涯学習センター 052-471-8121

☆全5回の予定。持ち物は「筆記用具」のみです。プリントを配布予定。

月	日	講座・講師
10	13	函谷関も物ならず(「箱根八里」)
10	20	げに一刻も千金の(「花」)
10	27	夕月かかりてにほひ淡し(「朧月夜」)
11	10	帰ってみればこはいかに(「浦島太郎」)
11	17	名将の剣投ぜし古戦場(「鎌倉」)

名古屋市生涯学習センター「大学連携講座」 定員 58名 受講料 1,800円

名古屋の歴史と仏教

【講座ガイド】

名古屋における仏教と歴史のかかわりについて、また、名古屋文化と仏教とのかかわり、一向一揆について、覚王山・タイ仏教と名古屋のかかわりなど、分かりやすく探求していきます。

講師	[1回~3回] 同朋大学名誉教授 織田 顕信 [4回~6回] 同朋大学 仏教文化研究所 所長 小島 恵昭
会場	名古屋市生涯学習推進センター(東別院)
時間・曜日	月曜日 14:00~15:30
受付開始	8月末~
申込締切	11月4日(月) 必着
問い合わせ先	名古屋市生涯学習推進センター 052-321-1571

☆全6回の予定。持ち物は「筆記用具」のみです。プリントを配布予定。

月	日	講座・講師
2	6	名古屋の歴史と仏教①
2	13	名古屋の歴史と仏教②
2	20	名古屋の歴史と仏教③
2	27	名古屋の歴史と仏教④
3	5	名古屋の歴史と仏教⑤
3	12	名古屋の歴史と仏教⑥

●申込方法(往復ハガキ・電子申請サービス)
※中村生涯学習センター・名古屋市生涯学習推進センター 共通

- ①往復ハガキ
1枚につき1講座ずつお申し込みください。
- ②電子申請サービス
電子申請サービスホームページをご覧ください。
パソコン版 <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>
携帯電話版 <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/m/>

Bridge over Campus and Society.
同朋大学同窓会誌

朋流

クラス会、サークルOB会、ゼミOB会、地域の同窓会など、同窓生の集まりがある時には、同窓会事務局までお知らせください。
郵送費など会の運営に関わる費用の一部を助成することができます。(事務局)

2011年度 公開講座のご案内

同朋大学仏教公開講座
(会場:同朋大学稲葉地キャンパス)

近代と真宗

12月3日(土) 大谷大学特任教授 安富信哉 先生
13:30~16:00

同朋大学仏教学科・連続公開講座

親鸞と現代

<全7回>

親鸞聖人七百五十回忌記念 ならびに
東日本大震災チャリティー

9月22日(木)	仏教学 福田 琢 教授
10月27日(木)	仏教学 中村 薫 教授
11月24日(木)	宗教学 菱木政晴 特任教授
12月22日(木)	歴史学 安藤 弥 准教授
1月26日(木)	真宗学 廣瀬 惺 特任教授

混迷する現代社会において私たちがどう生きていくのか。浄土真宗の宗祖である親鸞の生きざまに、その教えに、あらためて学んでいきたい。

同朋大学仏教学科の専任教員がそれぞれの専門分野から、課題に向き合い、問題提起します。事前申し込み不要で、どなたでも受講できます。

参加回数に応じて記念品を贈呈します。
当日限定のチャリティー企画もあります。

●会場
同朋大学
稲葉地キャンパス
Doプラザ閣蔵1階
ホール Do

●受講料
500円(一口)
※東日本大震災への義援金としますので、できる限りのご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先
同朋大学文学部研究室(052-411-1426)
(大学HP) <http://www.doho.ac.jp/>

※知文会館は名古屋駅近くにある大学の研修施設です。

同朋大学知文会館講座

受講料
会費:1回300円

●人生を考える講座

これでいいのだろうか 私の生き方

9月1日(木) 真宗大谷派三重教務所長 木嶋孝慈 先生
10:00~11:30

有無をはなる

11月1日(火) 法林寺住職・真宗大谷派宗議会議員 眞野琢児 先生
10:00~11:30

人生曲線

2012年1月11日(水) 同朋大学社会福祉学科 道岡まゆ子 専任講師
10:00~11:30

本国としての浄土

2012年3月1日(木) 同朋大学仏教学科 廣瀬 惺 特任教授
10:00~11:30

原則として隔月1日 10時~11時30分

●真宗講座 歎異抄

受講料:無料

5条	9月29日(金)	同朋大学	尾畑文正 教授
知文会館 報恩講	10月29日(金)	同朋大学	織田顕信 名誉教授
6条	11月29日(金)	同朋大学	蒲池勢至 講師
7条	12月29日(金)	同朋大学	田代俊孝 教授
8条	1月29日(金)	同朋大学	中村 薫 教授
9条	2月29日(金)	同朋大学	木村大乘 講師
中序	3月29日(金)	同朋大学	廣瀬 惺 特任教授

毎月29日 10時~12時 13時~15時

同朋大学同窓会 2010年度 決算書

(2010年4月1日～2011年3月31日)

●収入の部 (単位:円)

科目	決算額	予算額	差異(△減額)	備考
同窓会費	6,525,000	7,125,000	△ 600,000	@25,000×261
受取利息	1,882	1,000	882	
総会等参加費収入	219,000	90,000	129,000	総会・北陸懇親会・四国懇親会
前年度繰越金	7,776,209	7,776,209	0	
合計	14,522,091	14,992,209	△ 470,118	

●支出の部

科目	決算額	予算額	差異(△減額)	備考
会議費	442,130	350,000	92,130	
総会	413,330	300,000	113,330	
役員会	28,800	50,000	△ 21,200	
事業費	3,815,802	3,850,000	△ 34,198	
奨学金	550,000	550,000	0	@100,000×4名 @30,000×5名
支部助成	721,247	700,000	21,247	地域・職域等への助成
公開講演会	1,022,646	1,000,000	22,646	
「朋流」印刷	443,000	400,000	43,000	「朋流」印刷費 8500部
「朋流」発送費	1,078,909	1,200,000	△ 121,091	発送費等
事務費	1,406,925	1,360,000	46,925	
名簿管理費	239,400	240,000	△ 600	年管理費
通信費	454,497	80,000	374,497	支部会等案内 卒業生関連奨学金案内送付
印刷費	44,260	40,000	4,260	総会出欠葉書印刷代
渉外費	1,700	0	1,700	
出張旅費	245,090	200,000	45,090	
雑費	375,178	200,000	175,178	卒業記念・弔費他
人件費	46,800	600,000	△ 553,200	事務作業補助のため
大学への協力金	1,400,000	1,400,000	0	
出版助成	0	0	0	
同朋大学野球部後援会助成	600,000	600,000	0	
同朋大学柔道部後援会助成	100,000	100,000	0	
事業費引当預金	781	1,000	△ 219	
予備費	0	7,331,209	△ 7,331,209	
計	7,765,638	14,992,209	△ 7,226,571	
次年度繰越金	6,756,453	0	6,756,453	
合計	14,522,091	14,992,209	△ 470,118	

前年度事業引当預金残高 7,875,408 円
 当年度事業引当預金 781 円 引当預金残高 7,876,189 円
 上記決算書を監査したところ正確であることを認めます。
 2011年 月 日 印
 2011年 月 日 印
 2011年 月 日 印

同朋大学同窓会 2011年度収支予算書

(2011年4月1日～2012年3月31日)

●収入の部 (単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	差異(△減額)	備考
同窓会費	6,125,000	7,125,000	△ 1,000,000	@25,000×245名(5/1現在 学部207名 別科38名)
受取利息	1,000	1,000	0	
総会等参加費収入	120,000	90,000	30,000	@3,000×40名
前年度繰越金	6,756,453	7,776,209	△ 1,019,756	
合計	13,002,453	14,992,209	△ 1,989,756	

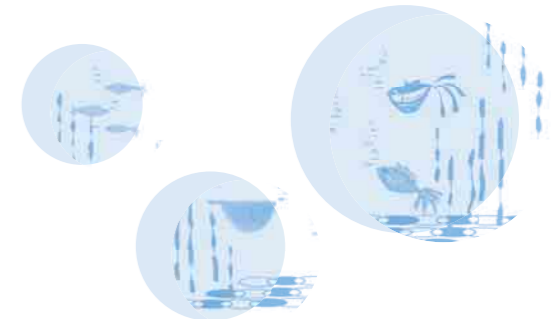
●支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異(△減額)	備考
会議費	250,000	350,000	△ 100,000	
総会	200,000	300,000	△ 100,000	懇親会費用 200,000円
役員会	50,000	50,000	0	常任幹事会食事代 2回分
事業費	3,750,000	3,850,000	△ 100,000	
奨学金	550,000	550,000	0	@100,000×4名 @30,000×5名
支部助成	700,000	700,000	0	地域・職域等への助成
公開講演会	800,000	1,000,000	△ 200,000	文化講演会 謝礼・広告・ポスター
「朋流」印刷	500,000	400,000	100,000	朋流印刷費 8500部
「朋流」発送費	1,200,000	1,200,000	0	
事務費	1,265,000	1,360,000	△ 95,000	
名簿管理費	240,000	240,000	0	
通信費	80,000	80,000	0	総会案内費
印刷費	40,000	40,000	0	封筒・葉書等
渉外費	5,000	0	5,000	
出張等旅費	200,000	200,000	0	各支部総会等出張旅費
雑費	200,000	200,000	0	卒業記念品・弔費等他
アルバイト	500,000	600,000	△ 100,000	事務作業補助のため @1,200円×8時間 年間約40日分
大学への協力金	700,000	1,400,000	△ 700,000	
出版助成	0	0	0	
同朋大学野球部後援会助成	600,000	600,000	0	
同朋大学柔道部後援会助成	100,000	100,000	0	
事業費引当預金	1,000	1,000	0	預金残高(7,876,189円)に対する利息 10000円
予備費	6,336,453	7,331,209	△ 994,756	
合計	13,002,453	14,992,209	△ 1,989,756	

A. 2010年度事業報告(2010.4.1～2011.3.31)

B. 2011年度事業計画(2011.4.1～2012.3.31)

1. 2010年度 総会開催	日時… 2010年6月4日(金) 18:00～20:00 会場… 名鉄グランドホテル 会議室 懇親会… 名鉄グランドホテル (19:00～20:00)	1. 2011年度 総会開催	日時… 2011年6月18日(土) 17:00～21:00 会場… 同朋大学 会議室 懇親会… 同朋学園 食堂「勝友館」 (19:00～20:00)
2. 支部活動 □北海道支部 総会・懇親会	日時… 2010年5月24日(月) 16:30～20:30 会場… 北海道教務所 会議室 (懇親会)	2. 支部活動 □北海道支部 総会・懇親会	日時… 2011年5月30日(月) 16:30～17:30 会場… 北海道別院 会議室 懇親会(18:30～20:30)
□三真会	日時… 2010年10月19日(火) 16:00～	□三真会	日時… 2011年7月20日(水) 16:00～
□北陸支部 懇親会	日時… 2010年9月17日(金) 19:00～21:00 会場… ホテル日航金沢	□北陸支部 懇親会	日時… 2011年7月20日(水) 16:00～
□社会福祉関係 従事者の集い	日時… 2010年11月27日(土) 14:00～19:00 会場… 同朋大学 成徳館 5階 J502教室 基調講演 「魅力ある福祉の職場をめざして」 講師: 吉田みゆき 氏(同朋大学社会福祉学部専任講師) シンポジウム 仕事の誇り! 楽しさ・やりがい探し! 第二部交流パーティー	□社会福祉関係 従事者の集い	日時… 2011年7月20日(水) 16:00～
□四国支部 懇親会	日時… 2011年1月22日(土) 18:00～21:00 会場… 高知パシフィックホテル	□四国支部 懇親会	日時… 2011年7月20日(水) 16:00～
□その他	同朋大学4学年(昭和45.46.47.49)合同・同窓会 日時… 2010年6月12日(土) 14:00～19:00 会場… 記念講演会 Doプラザ開蔵 その他、ゼミ、サークルOB会などに助成を行った。	□その他	日時… 2011年7月20日(水) 16:00～
3. 第27回 文化講演会開催	日時… 2010年10月31日(日) 13:00～15:00 会場… 同朋大学 J501教室 テーマ… 「老いからまなぶもの」 講師… 浜田 晋 氏(精神科医)	3. 第28回 文化講演会開催	日時… 2011年11月5日(土) 16:00～18:30 会場… 同朋大学 12Fホール テーマ… 東日本大震災チャリティ 「ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジー コンサート」 講師… ナターシャ・グジー 氏
4. 「朋流」発行	No.81・82合併号… 2010年9月	4. 「朋流」発行	No.83号 2011年8月発行 No.84号 2012年3月発行
5. 第33回 同窓会奨学生	教授会で選考された、学部生4名へ それぞれ10万円、留学生1名・および 大学院各研究科1名へそれぞれ 3万円の奨学金を支給。	5. 第34回 同窓会奨学生	教授会で選考された、学部生4名へ それぞれ10万円、学部留学生2名 および大学院各研究科3名へそれ ぞれ3万円の奨学金を支給予定。
6. 卒業・修了記念品贈呈	大学ロゴ入りハンドタオルを贈呈	6. 卒業・修了記念品贈呈	実用的で記念になる品物を贈呈 (内容は未定)
7. 大学祭助成	なし	7. 大学祭助成	なし



のりしろ

住所変更用紙

変更がございましたら下記に記入の上、裏がえしにして官製はがきに貼り付けてご返送ください。

同窓会番号		—	—
(封筒宛名の右下の番号です)			
卒業		<input type="checkbox"/> 仏教文化学科(仏教学科)	<input type="checkbox"/> 別科
		<input type="checkbox"/> 日本文学科(国文学科)	<input type="checkbox"/> 社会福祉学科
(卒業年		年	3月)
氏名			
ふりがな		ふりがな	
		(旧姓)	
変更事項	新住所	〒□□□—□□□□	
	新電話番号	— —	
	E-mail	@	
	新勤務先		

ご記入いただいた個人情報は同窓会の目的以外には使用しません

のりしろ

※住所を変更される方は、上の用紙にご記入いただき、切り取って官製はがきに裏返しにして貼り付け同窓会事務局までお送り下さい。

〒453-8540
名古屋市市中村区稲葉地町7-1
同朋大学 同窓会事務局

学内短信

訃報



2010年12月10日に、渡邊信和先生が命終されました。渡邊先生は、仏教文化研究所の所員として、現地調査に赴き、色々な企画展を開かれ、研究に力をそそがれていました。

授業では、「博物館実習」や「博物館概論」「漢文学講読」などを担当され、学生想いの豪快な先生でした。深く哀悼の意を表します。

退職される先生方

2011年3月31日をもって、2名の先生が特別任用教授に、また2名の先生が退職されました。永い間、本学のために大変なご尽力をいただきました。厚く御礼申し上げます。また、今後のご活躍をお念じ申し上げます。

特別任用教授になられる先生方



文学部 廣瀬 惺 先生



社会福祉学部 岡崎 強 先生

退職される先生方



社会福祉学部 松川 由紀子 先生



社会福祉学部 飯盛 茂子 先生

2011年度 総会報告

同朋大学 同窓会役員

(任期2010年8月1日～2012年7月31日)

顧問	池田 勇諦 B4	< 第3部会 常任幹事 >	
//	畝部 俊英 会友	碧海 和子 J1	沼波 政保 J2
//	大河内智見 真26・B1	安藤 絹子 J10	澤田 達哉 J12
//	沼波 政保 J2	浅野 修 J13	佐波 重典 J13
//	武元 勲 会友	戸田 大介 J14	菊池 政和 J15
//	※中村 薫 会友	加藤 文子 J19	北川 孝治 J19
会長	本田 眞哉 B7	藤嶽 五月 J19	竹田 克広 J20
副会長(第1部会委員長)	桜部 明 B25	玉村 文明 J22	井上さやか J25
// (第2部会委員長)	山田 攻 S2	荻野 大輔 J30	中條 敦仁 J27
// (第3部会委員長)	澤田 達哉 J12	久我 一斗 J34	
第1部会副委員長	竜澤 馨 B11	< 支部役員 >	
第2部会副委員長	丹羽 正雄 S7	北陸支部	
第3部会副委員長	菊池 政和 J15	支部長	光江 修一 S8
会計監査	笹木 嘉廣 S6	副支部長(富山)	中川 智晴 S26
//	佐藤 賢俊 B20	副支部長(石川)	吉田 直人 B36
//	北川 孝治 J19	副支部長(石川)	東 裕紀 S27
事務局長	尾畑 文正 B19	副支部長(福井)	朝倉 顕修 B30
事務局幹事	西脇 孝雄 会友		
//	原 智敏 B24	広島支部	
//	新田 彰円 B33	支部長	醍醐 直喜 B33
事務局主事	日比野祥子 J19	副支部長	植田 泰之 S13
< 第1部会 常任幹事 >		岡山支部	
神田 明 真26・B1	瀬尾 顕證 B5	支部長	高月 和紘 S3
織田 顕信 B8	林 正雄 B8	副支部長	片山 修二 S12
竜澤 馨 B11	牛屋 泰信 B13		
中村 可人 B14	吉谷 香壽 B17	北海道支部	
池井 隆秀 B18	佐藤 賢俊 B20	支部長	朝日 順悟 B32
吉田 昇代 B21	国枝 泰周 B24	副支部長	手捲 公俊 B34
桜部 明 B25	松野 厚 B26	事務	井上 琢磨 B42
戸松 憲仁 B32	武田 有史 B33	事務	江隈 智 別9
岩田 竜英 B34	木村 政彦 B35		
林 晃雄 B36	岩佐 隆 B37	四国支部	
杉浦 道雄 B45・院4	筧 宗久 別17	支部長	前田 伸和 S14
井上 重信 院1		副支部長(愛媛)	浅瀨 秀教 B34
		副支部長(高知)	尾崎 靖司 J30
< 第2部会 常任幹事 >		関東支部(新)	
岡部 賢昌 S1	加藤 和彦 S2	支部長	※坪内 秀樹 別6
山田 攻 S2	丹羽 正雄 S7	副支部長	※新野 和暢 B53
大谷 悟朗 S8	小宮山健次 S10		
佐々木秀三 S16	山口 智弘 S17	三真会	
大東 慎治 S19	宮浦 幸昭 S19	支部長	桜部 明 B25
村上 逸人 S20	石黒 学 S22	副支部長	天野 義敬 B28
田中 秀治 S23	内海 勝彦 S28		
小川 恭子 S25	日比野真司 S28	社会福祉関係従事者の集い	
松田 耕治 S34	山本 久義 S43	支部長	丹羽 正雄 S7
		副支部長	宮浦 幸昭 S19

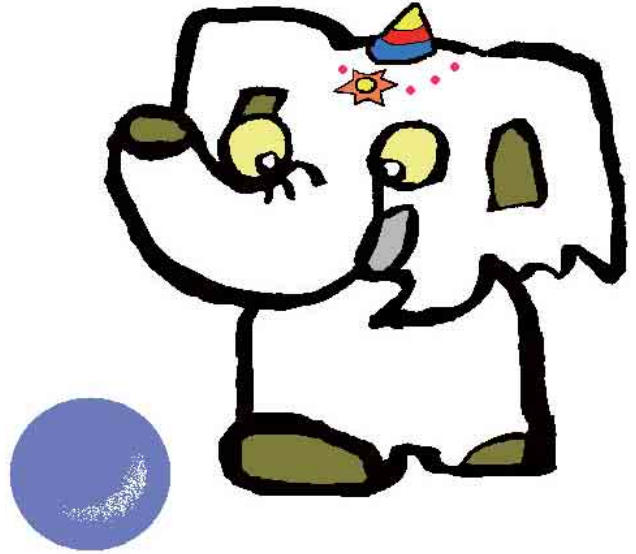
※は総会において新たにご尽力していただくことになった方々です。



鴨付通信

三月十一日に起こった東北地方太平洋沖地震から早くも三ヶ月が経ち、今年も残りあと半年となりましたが、いまだに収束しない原発のことなどなかなか心の落ち着かない日々が続いています。今年は大変な年になったと思っていれば同窓生の皆さんには大きなニュースも飛び込んできました。かねてより新聞紙上を賑わせていた同朋学園三大学統合については2012年4月に統合する計画は中止となりました。この問題を通して、同朋大学の同窓生として改めて母校について考えさせられることでした。今回の統合は中止になりましたがピンチをチャンスにして三大学の交流連携がますます進められていくことが大切かと思えます。

明るい話題を書きたいところですが同朋大学硬式野球部の話題もひとつ。春のリーグ戦を久しぶりの二部で迎えた同朋大学でしたが結果は勝ち点一の五位。さらに星城大との入替戦も一勝二敗と負け越し三部降格が決まってしまいました。戸田監督も仰っていたように三部では点が取れる場面でも二部では簡単に点が取れないというようにはっきりとした実力の差もあったようです。しかし選手たちにとって二部での戦いは、あと少し成長があれば二部でも十分に戦えるという手応えがあったのも事実です。三部からの再スタートとなった秋のリーグ戦で改めて圧倒的勝利をおさめ再び二部に昇格を果たせるよう願っています。(◎)



2011年8月31日発行

同朋大学同窓会

〒453-8540 名古屋市守区稲葉地町7-1

TEL 052・411・1111

内線(375)

E-mail:dosokai@doho.ac.jp

同朋大学同窓会 各位

学校法人同朋学園
理事長代行 尾畑文正

学校法人同朋学園 同朋大学・名古屋音楽大学・名古屋造形大学 三大学統合の中止について

日頃より本学園の運営について、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、学校法人同朋学園は2012年4月新大学設置構想に関して、設置認可の申請を中止いたしました。理由は、十分なコンセンサスの形成に至らなかったことにあります。これに伴い、同朋大学、名古屋音楽大学、名古屋造形大学は、そのまま存続いたします。小牧キャンパスからの移転計画は、この度の震災の影響もあり、凍結いたします。

ご心配をおかけしましたすべての皆様に深くお詫びいたします。新たな決意で、社会からの期待に応え続ける覚悟でございます。

三大学は更なる協力と連携を深めながら学園全体の発展をはかります。三大学の個性を尊重しながら相互に連携を深めることは「同朋和敬」「共なるいのち」を建学の理念とする本学園の精神に基づくものです。皆様からの声に謙虚に耳を傾け、同朋学園の力強い発展を期することをお約束いたします。

今後とも、同朋学園並びに本学園が設置する同朋大学、名古屋音楽大学、名古屋造形大学の三大学、同朋高等学校、同朋大学付属同朋幼稚園にあたたかいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上